

■カリキュラムポリシー（教育課程編成の方針）

（学部）

文星芸術大学では、教育理念・目的に添って教育目標を実現するため以下の方針によって教育課程を編成している。

- ① 各専攻を横断するカリキュラム設定や科目の人的交流を通して共通課程の基礎造形の徹底した訓練と専門課程の充実と展開を行う。
- ② 科目は芸術と人間社会における諸問題を総合的に捉える「教養科目」、教養と専門の要となる「共通基礎科目」、専攻教育における知識と表現及び理論の質の高い探求としての「専門教育科目」を設置する。
- ③ 美術の各分野を領域にまとめ、その中に専攻をバランスよく配置した編成による教育を実施する。
- ④ 積極的に作品を公表し、自らその作品や理論に対して客観性をもった作家や専門家としての自覚を促す教育を実施する。
- ⑤ 新しい表現手段と時代に適合した新しい視覚文化に対応できる教育を実施する。

（大学院研究科）

文星芸術大学院研究科では、教育理念・目的に添って教育目標を実現するために以下の方針によって教育目標を編成している。

<前期>

- ① 広い視野を獲得し、高度の専門性を高める領域編成。
- ② 学部教育を土台に主軸となる専門分野への深化を図り、更に高度の専門性を有した応用・発展へと展開する教育研究を実施する。
- ③ 専門分野の知識、技能を高度に深化させ研究能力及び表現能力を養成する科目を設置する。

<後期>

- ① 博士前期課程において培われた専門知識と制作能力及び研究方法をもとに一層の学際化と先導的研究が展開できる体制。
- ② 新しい造形芸術の担い手(作家)の養成の場として、芸術表現の制作・理論について研究領域に新しい展開が生まれる教育の実施。
- ③ 美術に関する幅広い視野と見識を養い、芸術理論及び歴史等の教育・研究も包括し、博士論文作成に関する基本的な知識と技術を学修する科目を設置する。